

平成29年第6回 千葉市選挙管理委員会定例会会議録

1 日 時	平成29年6月14日(水) 午前10時00分～午前10時50分					
2 場 所	選挙管理委員会室					
3 出席 委員	委員長	山本 宏行	委員	伊藤 晶		
	委員	千葉 通子	委員	松戸 敏雄		
4 出席 書記	事務局長	原 誠司	次 長	舩越 俊雄	次長補佐	清水 公嘉
	選挙班主査	宮本 道夫	管理班主査	宮川 総一郎		
5 議 題	報告第19号	千葉市長選挙における当選人の決定について				
	報告第20号	千葉市長選挙における供託物の返還について				
	報告第21号	地方自治法等の法令に基づく直接請求に必要な選挙人の数を告示したことについて				
	報告第22号	千葉市選挙管理委員会選挙執行規程の一部改正について				
	報告第23号	議会内会派の異動について				
	報告第24号	年代別投票率の調査結果について				
6 議事の概要	(1) 前回議事録の審査 第2回臨時会の議事録を、案のとおり承認した。 (2) 報告第19号 千葉市長選挙における当選人の決定について 報告第19号については、異議なく、原案のとおり承認された。 報告第20号 千葉市長選挙における供託物の返還について 報告第20号については、異議なく、原案のとおり承認された。 報告第21号 地方自治法等の法令に基づく直接請求に必要な選挙人の数を告示したことについて 報告第21号については、異議なく、原案のとおり承認された。 報告第22号 千葉市選挙管理委員会選挙執行規程の一部改正について 報告第22号については、異議なく、原案のとおり承認された。 報告第23号 議会内会派の異動について 報告第23号については、異議なく、原案のとおり承認された。 報告第24号 年代別投票率の調査結果について 報告第24号については、異議なく、原案のとおり承認された。 (3) その他 ・市長選挙に関連する報道等について 朝日新聞及び千葉日報に掲載された記事を紹介した。 ・千葉地域四市選挙管理委員会連絡協議会総会の開催について 出席する委員について協議した結果、松戸委員が出席することで決定した。 ・9月の定例会開催日については、次回(7月)の定例会で決定することとした。 次回の定例会開催日は、7月18日(火)午前10時から開会。					

7 会議経過	(要約可) 報告第20号について 松戸委員:「供託物没収点について、有効投票数の10%というのは、他の選挙でも同じ算出方法なのか。」 事務局:「基本的にはこの算出方法だが、市議会議員選挙では有効投票数に各区の議員定数で割った数字の10%が没収点となる。」 報告第24号について 山本委員長:「20代・30代の投票率が低い結果となっている。」 事務局:「各政令指定都市でも同様の傾向にあり、今後、若年層に対する啓発活動が大きな課題となっている。今回の市長選挙で初めて実施した『親子で投票所へ行こう！キャンペーン』では、約7,000人の応募者があった実績を踏まえ、毎年、千葉県弁護士会と連携して開催している小学校模擬選挙など児童・生徒を対象とした主権者教育を継続的に実施していくことが大切であると考えている。」 千葉委員:「一般的に30代・40代の世代は結婚して家族を持つ有権者が増え、社会的にも生活実感がある年齢層と思われる。20代は比較的に独身の有権者が多く、政治や選挙に対する関心が希薄ではないかと思われる。」 事務局:「年齢を重ねると共に、政治や選挙への関心が高まる傾向にあり、これからは、早い段階の年齢期から主権者教育が重要であると考えている。」 千葉委員:「学校教育の中でも指導される必要があると考えている。小学生の頃、婦人参政権が認められた初めての衆議院議員総選挙は、今でも深く印象に残っており、小・中学生に対する主権者教育は有効と思われる。また、昔の大学生は安保闘争などの影響により政治への関心が高く、学生の間でも政治の話題が議論されていた時代もあったが、現在はほとんど聞こえてこない。家庭内の親子の会話だけでは、限界があると思われる。」 事務局:「以前、大学生に聞き取りを行ったところ、学生の間で政治の話題は、ほとんどないと伺っている。」 千葉委員:「海外では、学校教育の中で政治論理など自由に意見・発言がされており、日本では少し残念な感じがする。」 事務局:「これからの学校教育における主権者教育に期待したいと考えている。」
---------------	---

--	--

上記のとおり、会議のてん末に相違ないことを確認し、署名する。

平成29年7月18日
